

私らしく  
咲く  
ふじのくに  
なでしこ宣言企業



女性管理職5割、在宅勤務も

広報・マーケティング室の課長代理、長谷川恭子さんは週2回、在宅勤務制度を使って自宅で仕事をしている。

5月に結婚し、富士市から通うようになり、通勤時間は高速道路を使っても片道約1時間となった。「この時間を家事に充てられたらいいの



に」。制度はあったものの利用者がいなかった在宅勤務を松田敏孝社長(56)に直接申し出たところ「ぜひ使ってみよう」と快諾を得た。

業種柄、必要なデータはクラウド上にあるため、自宅でも会社にいるのと同様に仕事

ができる。必要な時はテレビ会議を行い、全社員が閲覧できる日報に進捗状況などを書き込む。

女性管理職比率が54.5%と

週2日、在宅勤務する長谷川恭子さん(右)。3日は出勤し、自宅でできない仕事をこなす。中央は松田敏孝社長。焼津市

高い同社。「能力に応じて人事評価したら自然とそうなった」と松田社長。長谷川さんの在宅勤務も、実績と信頼があつてこそと言える。

女性の活用に積極的な企業を支援する県の事業「ふじのくに なでしこ企業100宣言」がスタートしました。宣言企業の職場を訪ねます。

(第2、4金曜日に掲載します)

サンロフト

企業データ

本社・焼津市  
業種・システム開発  
従業員・47人(うち女性22人)

私らしく  
咲く  
ふじのくに  
なでしこ宣言企業



両立可能な土壌に安心感

全国に事業所を構える同社の採用や労務管理を担う人事課の丹後由美子さん(30)は、9月に披露宴を挙げたばかり。家庭と仕事の両立を始めて間もないが、「出産しても働き続けたい」との思いは強い。

育児休業や時間短縮勤務制度を活用しながら子育てと仕事を両立させる先輩社員も多く、丹後さんは「結婚しても、



「女性が働きやすい職場」と、仕事に励む丹後由美子さん(左) 静岡市駿河区

子どもを産んでも仕事を続ける土壌が職場にできていて安心」と笑顔を見せる。

社員に占める女性の比率は約2割。特に、産業車両や産業用機器などを手配する「フロント職」と呼ばれる職域は

男性中心の職場だが、最近は女性の活躍も目立つ。総務部の杉本正紀執行役員は「女性の管理職登用も戦略的に進めたい」と力を込める。

(第2、4金曜日に掲載します)

レント

企業データ

本社 静岡市駿河区  
業種 産業機械・車両レンタル  
従業員 746人(うち女性149人)